

すい臓がんのリスク検査 PanaSee™ (パナシー)

受診医療機関名:

エヌケークリニック

お名前:

エヌケータロウ

受診ID:

9950

性別:

男性

受診日:

2017/6/1

年齢:

50

PanaSeeテストの結果、あなたのPC-594の値は **正常値未満** で
すい臓がんのリスクは **高リスク** と判定されました。

PC-594測定値	リスク判定結果	正常値範囲	
1.0 $\mu\text{mol/L}$	高リスク	低リスク	1.1 $\mu\text{mol/L}$ 以上
		高リスク	1.1 $\mu\text{mol/L}$ 未満

PanaSee(パナシー)検査
とは？

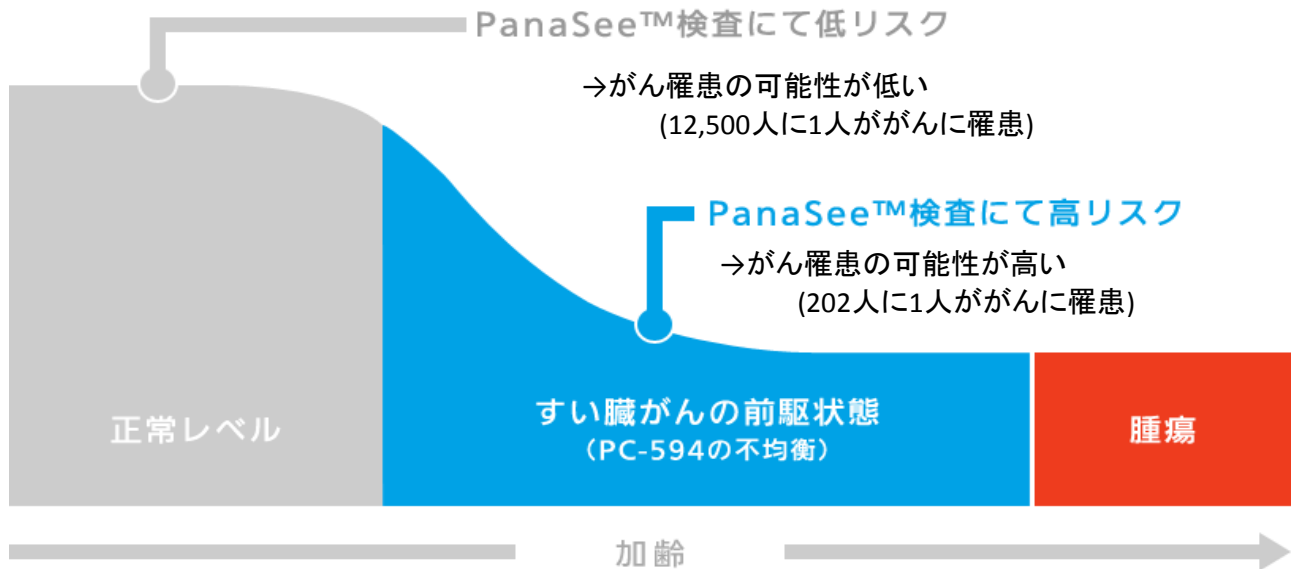
PanaSee検査では、PC-594という脂肪酸の濃度を測定しています。PC-594はすい臓がんに対する防御作用や抗炎症性の作用を持っていると考えられています。臨床研究から、PC-594の値が正常の範囲より低い方では、すい臓がんのリスクが高いこと、PC-594の値が正常の範囲内の方ではすい臓がんのリスクが低いことが示されています。

総合評価コメント

今回の検査結果ではPC-594の数値が低下しており、すい臓がんのリスクは高い状態であると判定されました。必要に応じて専門医の受診や精密検査の受診をご検討下さい。

◆PC-594濃度とすい臓がんのリスクについて

PC-594はすい臓がん患者で特異的に減少することが明らかにされており、高リスク群では低リスク群に比べ約60倍のリスクを有していることが分かっています。なお、PC-594は一度減少すると回復しないと言われています。



すい臓がんを予防するために

リスク因子を無くしましょう。

すい臓がんの正確な原因はまだ明確にはわかっておりませんが、現在研究によってすい臓がん発症の危険性を増加させるリスク因子がいくつか報告されています。リスク因子をお持ちの方はまずは、予防の第一歩として生活習慣の改善を心がけましょう。

糖尿病



すい臓がん患者の既往歴では糖尿病が25%以上と最も頻度が高く、糖尿病患者におけるすい臓がんリスクは増加することが判明しています。

喫煙



喫煙はすい臓がんの発症危険度を2~3倍に増加させると報告されています。また喫煙は動脈硬化やその他のがんのリスク要因とも考えられています。

アルコール



アルコール3杯以上(1杯=エタノール12.5g)の多量飲酒者ではすい臓がんのリスクが増加することが報告されています。

肥満



肥満はすい臓がんの発症危険度を増加させることが報告されています。BMI(肥満指数)が25以上の方では、それ以下の人に比べてリスクが2倍ほど高まるとされています。

◆PanaSee検査で高リスク判定だった方に

すい臓がんは進行が非常に早く、自覚症状も少ないがんとして知られています。本検査で高リスク判定だった方には必要に応じて専門外来の受診や精密検査の実施をおすすめしています。(下記は実施例です。)

CT検査

X線とコンピュータを使用し、すい臓の画像を撮影する検査です。病変の大きさや位置や広がりを精密に観察することができます。静脈注射で造影剤を入れてから行う「造影CT検査」では、リンパ節や周囲の臓器への浸潤の程度をより分かりやすく映し出せます。



MRI(MRCP)

M R I



強力な磁気を用いて、断層写真を撮影する検査です。MRCP(MR胆管膵管撮影)ではすい臓の中心を通る「膵管」や、胆汁を運ぶ「胆管」を中心に非侵襲的に撮影できるとされています。

超音波内視鏡

超音波装置を先端につけた内視鏡を用いて行う精密検査です。体表面からの腹部超音波検査と違い、対象となる部位に近い位置で行うことができるとされています。



参考:日本膵臓学会 科学的根拠に基づく 膵癌診療ガイドライン2013年版より

解析・測定:

MLD
MED-LIFE DISCOVERIES LP

Med-Life Discoveries LP.

販売:

NKmedico

NKメディコ株式会社

※PanaSee™はカナダ及び他の国々で登録されたMLD社の商標です。